



# 釧路西ロータリークラブ会報

会長方針「誰もが個性を楽しめる社会を」

本年度 第20回(通算第2433回)

プログラム「クラブフォーラム CLLS参加報告」

担当 次年度 理事会

■2025年4月21日(月) 18時30分～ ■ANAクラウンプラザホテル釧路

【会長】小栗 直也 【副会長】岡安 正人 【幹事】杉野 史和 【副幹事】平 信二・佐々木 進

★ 点鐘 岡安 正人 副会長



小栗会長が所用で  
途中出席の為  
副会長が点鐘

★ ロータリーソング  
「我等の生業」



ソングリーダー 平 信二 君

★ 会長挨拶 岡安 正人 副会長



皆さん今晚は。先日、西クラブのメンバー 8 人が集まりミニゴルフコンペをやりました。優勝は那知さんで準優勝が加藤さんでした。那知さんはパターが凄く上手いんですね。絶対スリーパターしないんです。本当に寄せるんですよ。加藤さんはかなり調子が悪かったんですが準優勝。そして私も調子が悪かったんですが 3 位になりました。そして、もう 1 つ那知さんが予約してくれていて釧路カントリーのオープンコンペも同時にやっていたんですけど、そっちの方は私が準優勝しまして、凄く嬉しかったなと思って、杉ちゃんは前半は調子が悪かったんですけど、後半やっぱり、さすが杉ちゃんだなと思って、凄く急に格好よくなってバチバチやっていました。また 5 月 10 日に那知さんが予約してくれているので、もう少し人数がいたら、もっと楽しいと思うので、5 月 10 日もし予定があいていたら是非参加して頂きたいなと思います。

★ 幹事報告 杉野 史和 幹事



・米山記念奨学会より  
“ハイライトよねやま  
vol 301” が届いてお  
ります。

## 【本日のプログラム】

### 「クラブフォーラム CLLS参加報告」 担当 次年度 理事会



会長エレクト 杉野 史和君

皆さん今晚は、次年度会長を仰せつかりました杉野でございます。1年間頑張りますので皆様どうぞ宜しくお願い致します。

まず、4/13のCLLSにご参加いただきました皆様お疲れ様でした。私は佐々木次期幹事と共に12日のPELSと翌日のCLLSに参加してきました。次年度に関しては変更点が多く会長エレクト研修(PETS)と言っていたんですが、それがPELS、地区協議会がCLLSとなります。研修スタイルは以前トレーニングだったのですが、ラーニング学ぶに変更されました。他にもRI会長のテーマがありましたが、それがメッセージに変更されました。それとテーマと一緒に年度のロゴがあったのですが、次年度からはロゴが廃止されてメッセージのみとされております。それはRI会長のメッセージを強く発信させて目立たせるためにロゴがなくなって、今まではロゴとクラブの会長テーマを合わせて使ったりしていたのですが、それを使えなくするという目的があるそうです。

ロータリーも次年度で120年となり、120年目の会長はブラジルにあります“サント・アンドレ・ロータリークラブ”のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴという会長でございます。奥様も50年近い衛星クラブ結成に尽力されたロータリアンだそうです。

RI会長メッセージは「よいことのために手を取りあおう」と発表されております。

人々が手を取り合って行動する世界を目指すというロータリー行動計画の思考から来るものだと思います。次年度RI会長の重点目標なんですけれども、

毎年そうなんですけれども、会員増強があげられております。

そして次年度RI第2500地区のガバナーなんですけれども、第7分区から皆さんご存じかと思いますが釧路北RCの佐渡正幸さんがガバナーです。第7分区からガバナーが出たのは4年前の2021-2022年度の漆崎ガバナー以来となっております。ガバナー補佐は同クラブの平澤利秀さんです。ガバナーズローガンは「Rotaryのことを熱く語ろう！～Rotarian Benefitsを紡ぎ、そして育むために～」です。この“紡ぎ”というのは以前の久木ガバナーの時にも“紡ごう”という言葉がありましたので、それを継承しているのかなと思いました。次年度、佐渡ガバナーが重点目標をあげておりまして、重点目標については凄く細かく指導がありました。

一つ目は「会員増強」現在2500地区では67クラブありまして、会員は2230名位になります。それを2500名にするという270名の会員増強を謳っております。2500地区は30年で1,000名くらいロータリアンが減少しておりまして、1,200名を切ると地区が無くなってしまおうようで、そこで会員増強に力を入れるそうです。すべての会員が会員増強について意思の統一を図るとのこと。二つ目は「衛星クラブ等4クラブ以上増やす」という事です。中々ハードルが高いなと感じました。三つ目は「ファンドレイジング」寄付ですが、次年度、年次寄付を一人150ドル、ポリオ寄付を一人50ドル、米山寄付を一人6,000円を、トータルで37,000円くらいになるので皆さんお願いしますとの事でした。続きまして「ポリオ根絶活動の実施」「ロータリーの未来である青少年奉仕活動の拡大と充実」ということで、ローターアクト会員の50%純増ということがあげられていました。また、ローターアクト、インターアクトの活動支援、及び共同奉仕の実施ということを言われました。凄く具体的に数字的に言われていたというのが私の感想でございます。そして、ガバナーの方針をお聞きしまして、次年度の釧路西ロータリークラブのテーマを決めさせて頂きました。テーマは「ロータリーの良さを」とさせて頂きました。時代と共にロータリーのあり方や活動も変わってきているなという中で思う所がありまして、今一度、会員の皆様とロータリーの良さを考える、伝える、生かす事を皆さんと一緒に考えてロータリー活動を1年間して参りたいという気持ちで「ロータリーの良さを」とさせて頂きました。重点目標が1.クラブ発展の為に会員増強と退会防止 2.会員どうしの交流と親睦活動の活性化 3.自主性を尊重し活発な委

員会活動 4.青少年奉仕活動 柔道・バレーボール大会の出席 5.ロータリー財団、米山記念奨学会への理解と協力 6..地区大会への参加協力 とさせて頂きました。会長方針を昨日決めましたので、これから各委員長には活動計画を作ってもらいますけれども、6月9日にガバナー補佐の公式訪問がありますので、それまでには活動計画書を作っておかなければいけないので、あまり時間が無いのですが今月末までに提出の方よろしくお願い致します。私からの報告は以上でございます。



平 信二 君



次年度幹事 佐々木 進 君

皆さん今晚は、次年度幹事を務めさせて頂く佐々木です。宜しくお願い致します。PELS、CLLSの参加報告をさせて頂きます。RI 会長の方は杉野エレクトから報告があったので割愛させて頂きます。

僕の方は次年度、平澤ガバナー補佐からの言葉から一部抜粋してお伝え致します。

「RI 会長、佐渡ガバナーのメツセージ、スローガンを私たち第 2500 地区第 7 分区の全会員が共有して同じ方向性、同じ理解を図りながら行動することが重要だと考えます。世界にいる約 115 万人のロータリアンと元気なクラブを作る、また、会員一人一人が真のロータリアンとして使命を自覚する、一步前へ前進しながら行動を起こす、そんなきっかけの 1 年になることを節に願います」

との言葉がありました。

その他として“元気なクラブを作る”についてトークセッションが行われました。内容としては各クラブの個性や地区補助金を利用する等がありました。土曜日はエレクトと懇親会に参加させて頂きました。以上、報告になります。

皆様お疲れ様でございます。私は第 6 分科会でございます。第 6 分科会は財団とその他いろいろあったんですが、私は広報の方で登録したのですが、結果 2 時間くらいやったんですが、ほぼ財団の話、財団と米山の話でほぼ終わりました。いわゆる地区のファンドを使ってやるというのもあれなんですけど、国際的なものをやる時に、まず地区の方から調査費用というか海外に行く場合は何人かでチームを組んで調査費用を出してくれると、それで、一人 5 万円だか地区補助金から出て最大 4 名までで 20 万までがプロジェクトの調査費用として出してくれるという事です。そのあと、国際奉仕で何かやった時に RI のグローバル補助金だと 300 万、クラブが最低限支出する金額とを合わせて国際的な奉仕活動をしていくという話なんですけど、例えばやっている最中に、例えば井戸を掘りますという事をやる時に 1 ヶ月 2 ヶ月かかりますという時に VT チームの方から視察の補助金が出るという話です。色々そういう絡みがあるので、せっかく国際奉仕というのがあり、世界社会奉仕基金も貯まっていますので、そのものを活用しながら何かグローバル補助金を使えるようなものが西クラブからも誕生すればいいと思います。





大場 恵治 君

私は第 4 分科会、青少年部門に出席しました。佐渡ガバナーエレクトが出席して、あとパネラーが 6 名ほどいました。青少年部門という事で先程も杉野エレクトの方から出ていましたローターアクト、インターアクトの話でございまして、ローターアクトは会員の減少という事で 50%の純増を目指したいという話です。ロータリークラブとしてローターアクトクラブとの共同奉仕とか協力金の支援というのはやっていると思います。うちのクラブも上期に 2 千円ですか 6 万円の協力金を出しています。あとロータリークラブとしては活動及び各種大会への支援協力というお話でございました。それからインターアクトですね。これはインターアクト委員会から活動の発表というのがありました。やはりインターアクトもメンバーが減少しているとの事です。高校生の活動ですが学校現場の先生方の働き方改革という事で、そういう活動が難しい、大変だという事です。あと、インターアクトクラブの提唱クラブの財務的な問題もあるようでございます。このインターアクトの課題と解決策という事で話になったんですけども、やっぱりインターアクトは短期の海外研修の実施というのが大きな目玉というか魅力なわけで、ここ数年コロナの影響で中止になっているということで、高校生が楽しみっていうんですかね、海外研修に行けるということで、せっかくインターアクトクラブに入ったのに全部中止になっちゃって、海外研修に行けなかったと、3 年間のうちに行けるかと思っただけに行けなかったと残念な声が聞かれたとの事です。それから地区大会の当番校の問題もあるようです。うちのクラブも上期に 1,000 円、3 万円ほど武修館高校に協力はしています。ローターアクト、インターアクト、そしてロータリークラブも会員の増強には課題があるということでございます。簡単ですけども、このような内容になっております。以上です。



山本 秀基 君

自分は第 5 分科会、奉仕プロジェクト部門の方に参加をさせて頂きました。この第 5 部門の参加対象者は社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、ロータリー情報、広報、プログラム委員会、そして 50 歳未満会員となっております。アドバイザーが小船井 PDG、半分くらい遅れてきたのが葎本 PDG、そして欠席された PDG は吉田潤司さんでした。結局パストガバナーのアドバイザーというのは一人しかおられませんでした。この第 5 分科会というのは社会奉仕、国際奉仕というのが担当だったんですけども、国際奉仕の話はほとんど出てこなかったです。主に出てきたのは社会奉仕。次年度の佐渡ガバナーが目指している社会奉仕というのは環境をテーマにした社会奉仕を是非お願いしたいという事でした。今、そういう形で社会奉仕で環境をテーマにしたプロジェクトをやっている所のクラブが参考までに色々なお話をしていました。ただ、うちのクラブで社会奉仕でやっていた環境をテーマにやっていた“ハマナスの植栽”は海岸が大潮で流されてだめになっちゃったものですから、今はそのプロジェクトというのは何年もやっていないですから、また新たにうちのクラブでもそういうプロジェクトがあれば立ち上げていきたいなと考えて、話を聞いていました。是非、若い人たちに環境をテーマにしたプロジェクトを、それこそ次年度、財団の補助金申請が終わってなければ、次に次に繋げて行って、財団の補助金を使ったプロジェクトをやってみたいなというふうに考えました。以上でございます。



加納 則好 君

私は 13 日の午前中しか参加できませんでした。それはセレモニー的な所でしたが、今、皆さんからお聞きした内容と同じようなことを佐渡エレクトもお話されていましたが、改めて、あれだけの人が 2500 地区にいるんだなと感じたのと、セレモニーの進行を含めて、さすが北クラブという印象を強く持ちました。もちろん、かなり前から準備されている事だと思いますけれども、素晴らしいセレモニーに参加させて頂いたと思っております。ま、そういう意味で我々、西クラブも人数は少ないですけれども、この分区からガバナーエレクトを出しているという事ですね、皆で佐渡さんを立てて支援していけたらなと改めて思いました。以上です。



次年度 親睦委員長 金田 剛 君

皆さん今晚は、前々から話が出ておりましたが、次年度 会長から何か企画してほしいと言われてまして、次年度の下期の暇な時期に 1 泊で会員と家族でどこかに行きたいなと思っております。これまで貯めていたお金もあるので、それを使って何かしたいと思っております。最近はスポーツ例会

もなく、野遊会も参加者が少ないので、これから理事会でもんで決まりましたら是非参加して頂きたいなと思っております。宜しくお願い致します。

★ 点鐘

小栗 直也 会長



★次週例会の御案内

5月12日(月) 12時30分～

ANAクラウンプラザホテル釧路

「 青少年奉仕月間プログラム 」

担当 青少年奉仕委員会